

2年 よいことをすすんで  
内容項目 A 善悪の判断、自律、自由と責任  
資料名 「教室のできごと」  
本時のねらい

花瓶を割った友達を偶然見かけた「わたし」の姿を通して、よくないことを見たり聞いたりしたとき、どうすればよいかを考えさせ、善いと思うことをすすんで行うための判断力や心情を育てる。

### 子どもの学習活動

- 誰かがよくないことをしているところを見たら、どうするかを話し合う。

友達がよくないことをして、わたしが注意したことがあるよ。

よくないことだったら、「だめだよ。」って教えてあげるよ。

- 「教室のできごと」を読み、「わたし」はどんなことで困っているのかを話し合う。

### 「わたし」は、何にこまっているのかな。

先生に言おうか言わないかでまよっている。

この後、ゆかちゃんになんて声をかけていいか考えている。

われた花びんをどうしようかこまっている。

### よくないことを見たり聞いたりしたとき、どうすればよいのでしょうか。

- 「わたし」がこの後どうするかを、ゆかちゃんと仲良しだった場合と仲良くなかった場合について、話し合う。

教室のものをこわしたのだから、先生に言った方がいいと思う。



もし「言わないで」って言われたら...

ゆかちゃんが自分で言った方がいいよ。ゆかちゃんに話そう。

仲良しの友だちなら、言えない気がしてきた...

先生に言った方がいいと思うけど、すぐには言いにくいな。

だれかほかの友だちにそうだんしてみたいんじゃないかな。

それでも言う。はっきり言う。

ゆかちゃんは、どうするのかな。

- 自分から、ゆかちゃんに教えてあげたいことを発表する。

先生に正直に言った方がいい。だまっているのは、よくないよ。

わざとわったわけじゃないけど、きちんと話さないといけないよ。

きちんとってあげたいけど...やっぱり言いにくいなあ。

いつも、どんなときも、だめなことは「だめだよ。」って言える気持ちを大切に、生活していきたいな。

- 「つなげよう」を読み、自分が、教室に誰もいないときに何か物を壊してしまったらどうするかを考える。
- P120「学びのきろく」に記入する。

### [子ども一人一人の学びが深まった姿]

相手との関係によっては、よくないことを指摘しにくい場合もあるが、気持ちよく生活するためには、よくないことをよくないと言える姿勢が大切であることに気付いている。

### セルフチェック1 (興味・関心・疑問をもてる)

本時のテーマについて普段の生活で感じたことや経験を交流させることで、子どもの本時の学習に関する興味を引き出す。

### セルフチェック3 (見通しをもって追究)

「わたし」の困っていることを明らかにすることで、本時で解決したい課題に対する見通しをもつ。

### セルフチェック5 (多面的・多角的に考察)

「わたし」とゆかちゃんの間を具体的に設定した上で課題について考えることで、多様な考えが生まれ、それらを交流させることで多面的・多角的な考えに触れることができる。

### 【評価】

よくないことを見たり聞いたりしたときに、自分だったらどう振る舞うだろうかと、自分を見つめている。

(記述、発言)